



かいち学童での2年半を振り返って

高野 陸(かいち学童)

こんにちは
かいち学童に
勤めさせていただ
いております、高
野陸と申します。
学童は安全にみ
んなで遊べる場
所でありつつ、学べる場所でもある空間づく
りを意識しています。
最終的には子供たちが先生に頼らずとも
自分のやるべき事をやり、良し悪しの区別を
し、周りの状況を見て行動できるようになっ
てくれたらなと思っています。
私が学童に来てから2年半が経過し、色々
なことを学ばせていただきました。
私は子供たちの自立を目標に、自分で気

づかせることに固執していましたが、そもそ
も「1の次が2」であるように、教えてもらわな
いとわからないことがあると気づき、教える
ことと考えさせることの両方をいいバランス
で与えていくことが子供たちの成長に繋がる
と感じました。
学童には食物アレルギーを持った子たちが
います。私も落花生ピーナッツにアレルギー
を持っているので、アレルギーに関しては人
一倍気を配り、お菓子などの成分表に加え
て製造ライン、コンタミネーションまでしっ
かり確認するようにしています。
また、他のお友達と違うお菓子である事
が嫌だと感じる子や、逆に1人だけ違うこと
に優越感を感じる子などもいて、子供たちの
感じ方も様々です。たかがお菓子と思われる

かもしれませんが、子供たちにとっては大き
な楽しみの一つですから、子供たちに喜んで
もらい、お菓子の時間で喧嘩にならないよう
に配慮して選んでいます。
私はこれまで、十分なコミュニケーション
ができず、ご不安やご心配をおかけしたかも
しれません。
しかし、これからは心機一転、保護者の皆
様と連携を深めながら、より良い「かいち学
童」を築いていければと思っています。



川西のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

川西 久志(諸口教室)

努力はいつからでも、どこからでも始められる

こんにちは。少しずつ涼しくなってきた、運動し
やすい季節になってきました。今回はGrowingの
「ちょっといい話」を担当させていただきます。ちな
みに2年ほど前にも、悪性リンパ腫を患った体験
談を書かせていただきました。今回は、その後どの
ように変わったのかをお話したいと思います。
2023年6月、私は悪性リンパ腫を発症しまし
た。7月から外科手術と抗がん剤治療が始まり、入
院生活を送りました。入院中に感じたのは、「病氣
を治すのも大変だが、運動不足で別の病氣を引き
起こしそうだ」ということでした。足を使わない
日々が続く、見る間に筋肉が落ちていくのを実感
しました。前回の記事にも書きましたが、そんな理
由で病室でも筋トレをしていました(笑)。
半年間の治療を経て、12月に抗がん剤治療が
一段落しました。心は軽くなりましたが、筋力も持
欠力もすっかり落ちていました。ようやく本格的に
運動できると思い、試しに2kmほど走ってみたこ
ろ、翌日に膝に激痛。体が思っていた以上に弱っ
ており、まさにゼロからの再スタートでした。
そこで、まずは基礎体力を戻すことを目標にし
ました。膝が治ったタイミングで24時間ジムに入

会し、週3回通うようにしました。筋トレやストレ
ッチを中心に少しずつ体を動かし、ランニングの距
離も徐々に伸ばしました。最初の頃は体もきつく、
足の故障を繰り返しましたが、続けるうちに走る
距離が少しずつ増えていくのを実感しました。
そんな生活を1年ほど続けた頃、「目標を持って
走りたい」と思い、交野ビックロックトレイルへの
出場を決めました。トレイルランは登り下りが激し
く、ロードとはまったく違う難しさがあると聞い
ていましたが、完走を目標に日々練習に励みました。
迎えたレース当日。朝の冷たい空気の中、ス
タートラインに立った瞬間、ここまで来られたこと
への感慨がありました。序盤の急登ですぐに息
が上がりましたが、焦らず一歩ずつ前へ。中盤の
岩場では足がつりそうになりながらも、手を使っ
て登り切りました。途中、鎖を持って崖を下るよう
な箇所もありましたが(笑)、ここまで積み上げて
きた練習が自信を支えてくれました。
結果は4時間14分で完走。タイムよりも、「やり
切った」という達成感の方が大きかったです。大き
な病氣をしても、努力すれば再び健康を取り戻せ
ることを自分自身で証明できた気がしました。

現在も定期的に検査を受けながら、その頃より
もトレーニング量を増やして励んでいます。今回の
経験を通して改めて感じたのは、「目標を持つこ
と」「続けること」、そして何よりも「まずやってみ
ること」の大切さです。努力はいつからでも、どこか
らでも(病室からでも 笑)始めることができます。
カイチ生の皆さんにお伝えしたいのは、どんな
状況やタイミングからでも努力は実を結ぶという
ことです。もちろん、自分のペースで構いません。も
しやりたいことがあるのに1歩を踏み出せずにい
る人がいたら、ぜひ明日から始めてみてください。
成功しても失敗しても、それはきっと皆さん自身の
大切な経験値になります。
この記事を読んだ皆さんが、明日から何かを始
めるきっかけになれば嬉しいです。



▲緊張のスタート地点



▲1km地点 この時はまだ元気でした 笑

■11月上旬より期末模擬テストを各教室で実施します。

■11月9日(日)は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。

■11月25日(火)・26日(水)は小学部の診断テストの予定です。

■12月6日(土)に珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんな
は教室の代表としてがんばってください。

■受験生にとって大切なテストが続く中、風邪にかかる人が増えています。

手洗い、うがいを徹底していきましょう。

<受験生を持つ保護者の皆様へ>

11月はテストが続き、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。
心配やご相談がある時は、遠慮なく各教室にご相談ください。

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

勝負の11月。どう自分と向き合うか

11月に入り、暖かかった10
月が嘘のように寒さが身に染み
るようになってきました。それと
共に各学校では学級閉鎖も増
えています。皆さんくれぐれも体
調管理には気を付けましょう。



▲高殿の受験生、集中してます!

中学3年生は夏期講習から
続く勉強と、10月からの実力・
模擬・定期テストのラッシュで疲れている
生徒もいるのではないのでしょうか。でもそ
んな中、カイチ生達は10月の五ツ木と進
研模試ですごい結果を出しています。

**五ツ木模試では鯉江・城陽・緑・蒲生・
旭陽・茨田・茨田北・横堤の学年トップは
全てカイチ生。**また、城東区・鶴見区の中
学校の学内トップ10のうち50人をカイチ
生が独占しました。すごいです。

また、**進研模試では集団クラス185名
の平均偏差が60.5と偏差値60を平均で
上回りました。**私は33年間中学生の指導に携わっていますが、平均で
偏差値60を超えたのは初めてです。きっと生徒達も先生達もものすご
く頑張っているのだと思います。

でも、手放しで喜んでいる場合ではありません。11月は受験の天王
山。各私立高校では10月よりも11月の五ツ木模試と実力テストの結
果を重視して受験の可否を決める学校がほとんどです。受験の手前、
「受けさせてもらえるかどうかが決まる」それが11月のテストが持つ意
味です。

また、11月下旬には期末テストがあります。期末テストは5教科だけ
でなく、技術・家庭科・美術・保健体育などの教科も含まれ、内申点に
大きな影響を与えます。当然公立高校を第一志望と考えている人にと
っては、内申点を落とすわけにはいきません。また、中3の後半内容
は受験での出題率も高く、定期テストで受験に使える知識にしておか
なければ、12月末から始まる私立赤本の特訓に対応できません。

泣いても笑っても、12月の三者面談で受験校を決定するデータは
期末テストを最後に出揃います。そのような意味でも、とにかく後1カ
月、集中力を切らさず頑張ってください。

ここから先は、自分との戦いになります。そこで大切なのは、気持ち
の持ち方です。まずは「不安は横においておく」ことです。

受験が近づく不安が募ります。その不安の正体は「落ちたらどう
しよう」という気持ちです。でも、いくら不安に思っても賢くなるわけ
でも、点数が伸びるわけでもありません。そんな時間があるなら、単語の
1個でも覚える。怖いな、不安だなと感じるのは努力しているからこそ
起きる感情です。不安な人は受験生として健全です。不安と恐怖は頑
張ることしか拭えません。不安なら机に向かう。そして、やるべきこと
をやったなら「今日もベストを尽くした」と思っぐっすり眠ってくださ
い。

それから心構えの2つ目。それは「足元だけを見る」ことです。皆さん
は今テストラッシュです。しかもそのテストの重要度はどれも高い。プ
レッシャーは半端ないと思います。テスト結果が悪かった時は、周りが
みんな伸びて自分だけがだめだった気持ちになり、落ち込んで、やる気
をなくしてしまうかもしれません。

でもそんな時ほど、周りを見ず、自分の足元を見て今日すべきことに
集中してください。周りを見て羨ましがっても、何も変わりません。大切
なのは「今ここ」。今日すべきことに集中することです。やるべきことを
粛々とやったなら、それ以上はありません。

苦しい時は、不安を横におき、周りを見ず、今日すべきことだけに集
中して粛々とすべきことをする。

高校受験に取り組めるのは、人生で今しかありません。それを後で
振り返った時「逃げた」と思うのか「しっかり向き合えた」と思うのか。
皆さんの人生を決めるのは、受験の可否という結果ではなく、苦しい
ことを逃げずに乗り越えたという、自分への信頼です。

勝負の11月。先生達も精一杯サポートします。みんなで春には笑え
るように、「今ここ」を頑張ろう。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

まだまだ広がる、カイクベの輪

井上 陽平 (カイクベ蒲生四丁目教室長)

肌寒い季節が続く、秋の深まりを感じるようになりました。天気は変わりやすいですが、空気が澄んでいて、少し外を散歩するだけでも心地よい気分になります。今回は、カイクベ蒲生四丁目教室の今の姿を、みなさんにご紹介いたします！

①改めまして、「カイクベ」です。

実はこの記事で3回目の教室紹介となるカイクベ。まだまだ開校2年目の駆け出し教室ですので、改めて自己紹介(教室紹介?)をいたします。カイクベは、周りの誰でもなく、自分自身に挑み、努力と工夫によって、過去の自分から数cmでも成長しようとする子供たちのために開校した、開智総合学院発の個別指導専門教室です。現在は小学生・中学生・高校生と幅広い生徒に通っていただいており、熱意溢れるスタッフとともに、日々全力で取り組んでいます。また、2025年3月より「カイクベ諸口教室」も開校し、そちらも大盛況となっています。カイクベに集まる期待や可能性の輪がグングン広がっており、更なる成長の兆しも見えています。



②小学個別クラス

カイクベには、カイチ初の小学個別クラスを設置しており、学校の予習・復習、英検対策、中学受験の勉強など、それぞれ多様な学習を進めています。小学個別クラスの指導で心掛けているのは、授業が楽しい!と感じてもらえることです。授業では、学



習指導だけでなく、先生自身が日々の中で発見した気付きを話したり、子供たちが学校や遊びの中で感じたことを聞いたりするコミュニケーションの時間を意識的に取っています。「○○先生っておもしろい」「カイクベでの勉強は楽しい」としてもらえることが、塾に通う原動力になると感じています。また、単純な面白さだけでなく、課題を乗り越えたり、成長を感じた達成感も重要です。授業内の小テストは、成長を実感するチャンスです。前回よりも計算・漢字・英単語のテストの点数が上がっていくと、学習の成果が感じられ、長期的に勉強を頑張っていくモチベーションになります。私自身も小学生の成長に負けないよう、指導のクオリティを強化していきます！

③中学・高校個別クラス



カイクベの中学生・高校生たちも、小学生以上の活気に溢れています。この記事を書いている現在、カイクベは2学期期末テ

スト対策の真っ最中です。「スケジュールシート」で目標点や学習スケジュールを立て、テスト勉強を進めています。前回のテストで点数が上がった生徒はもちろん、点数が振るわなかった生徒も、「次こそは点数を上げてやる」とやる気に満ちています。カイクベに通う生徒に、勉強が大好き・勉強がめっちゃ得意と言える生徒は多くいません。それでも、目の前の課題やテストに対して積極的に取り組み、昨日の自分に克とうとする生徒の姿勢に、僕自身も勇気づけられます。特に、年が明けるといよいよ入試目前の中学3年生は、毎日自習に来て少しでも成績を上げようと努力しています。彼らが志望校に合格できるよう、彼らを導き、寄り添い邁進してまいります。

④来年度に向けた準備も進めています！

来年度、最も大きなプロジェクトは、「カイクベ屋の部(仮称)」に向けた取り組みです。カイクベや開智総合学院の中で、「学校に通えていない」という悩みを抱えている生徒・保護者の方の声を伺う機会が増えました。学びの多様化が進む中で、そのような生徒が学習する機会を設けることは、カイクベでも可能なのではないかと、プロジェクトが立ち上がりました。詳細はまたご報告いたします！

⑤おわりに

まだまだ発展途上のカイクベ。そんなカイクベを信じて来てくれている生徒・保護者のみなさんの期待に応えられるよう、そして、地域に新たな価値ある教育を示せるよう、一生懸命取り組んでまいります。そんなカイクベを、どうぞよろしく願いいたします！

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

Spooky and Spectacular Halloween Treat in Talking Kids
トーキングキッズのちょっと怖くてとびきり楽しいハロウィンイベント

Silvestre Medelin (Talking Kids)

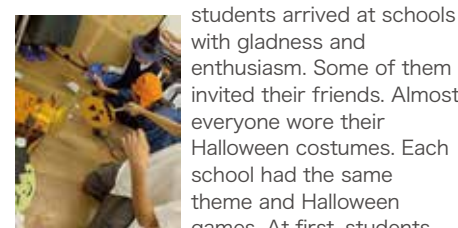


What comes into your mind when you hear "Trick or Treat"? Have you thought of scary Halloween characters or treats? In Talking kids, the excitement and meaningful English learning is our main goal so we always brainstorm the most interesting way of celebrating Halloween. Considering many things such as the Halloween games we integrate in the lesson and the availability of materials we use. It is quite thought-provoking yet the joy our students get during the Halloween lesson is self-fulfilling.

On the other hand, not only teachers are preoccupied but also our students. The moment we handed the fliers for the Halloween event; questions popped up into their minds-thinking what costumes to wear. "Should I be scary or should I be cute?" Such questions are interesting and quite puzzling to be answered by themselves yet parents' intervention is needed when they do not know what to wear. It is their joy to wear amusing Halloween costumes and feel the essence of Halloween. To elaborate, we came up with exciting



Halloween games which our students really enjoyed and used English effectively. TK



students arrived at schools with gladness and enthusiasm. Some of them invited their friends. Almost everyone wore their Halloween costumes. Each school had the same theme and Halloween games. At first, students were enlightened after the brief introduction of the history of Halloween. Then, we enjoyed singing a Halloween song which let them feel the Halloween vibe. Some students were inevitably timid yet seeing other students having fun motivated them to overcome their shyness. After that, we played the Halloween game Plinko which enabled them to familiarize the scary and interesting Halloween characters. They were also able to pronounce difficult words in the game with joy and eagerness while playing. The excitement continued when they played the Fan the Ghost. It was really magnificent seeing their heightened energy and persistent effort. It was quite challenging for them to control the paper ghost as air pushed them while fanning. Their



happy faces showed great relief as they were able to fan the ghost inside the box. They were shouting the words Fan the Ghost while playing. It was a manifestation that English

learning could be attained through interesting and exciting English games. They thought the party was over when we turned



off the lights and showed them a sample of the Halloween lantern. They were surprised to see the reflection of the Halloween characters inside the paper cup. Their sense of art was really activated when they were asked to draw and cut any of the Halloween characters and glue them in the cup. Their fine motor skills were also honed when they were cutting their own design for the Halloween lantern.

They were amazed when they saw the lantern they made as we lit them up. We ended the party with trick or treating and they were elated to receive the treats. Thus, the Talking Kids Halloween Party was really a blast!



“トリック・オア・トリート”と聞くと、何が思い浮かびますか?ハロウィンのちょっと怖いキャラクターやお菓子のことを考えたことはありますか?

トーキングキッズでは、ワクワクする体験と意味のある英語学習を大切にしているため、ハロウィンの祝い方もいつも一番楽しい方法をみんなで考えています。レッスンに取り入れるハロウィングেমや、使用する教材の準備など、様々なことを考慮する必要があります。これはなかなか考えさせられる作業ですが、このハロウィンレッスンを通って生徒たちが喜びを感じてくれることが私たちの大きな達成感につながります。

一方で、忙しいのは先生たちだけではありません。生徒たちも同じです。ハロウィンイベントのチラシを配った瞬間「どんな仮装をしよう?怖いのがいいかな、それともかわいのがいいかな?」とみんなワクワクしながら考え始めました。自分で決めるのは少し難しいので、どんな仮装をすればいいのが悩んでいる時はやはり保護者の方々のサポートが必要になります。子供たちはみんな面白いハロウィンの仮装をして、ハロウィンの雰囲気を感じたり楽しんでいるのが大好きなんです。

私たちはみんながワクワクするようなハロウィングেম

を考え、生徒たちもそれをとても楽しみながら、英語も効果的に使ってくれました。当日、TKの生徒たちはうれしさでワクワクを抱えてやってきてくれました。何人かの生徒たちは友達を誘ってきてくれました。ほとんどの生徒がハロウィンの仮装をしてきていてとてもぎやかでした。どの教室も同じテーマとゲームで盛り上がりました。最初にハロウィンの歴史を簡単に紹介すると、生徒たちは理解を深め、興味をもって聞いていました。それからみんなでハロウィンの歌を歌って、ハロウィンらしい雰囲気をたっぷり楽しみました。最初は少し恥ずかしがっていた子もいましたが、まわりの友達を楽しんでいる様子を見て、だんだんと勇気を出して一緒に盛り上がることができました。そのあと、ハロウィングেম“プリンコ”をみんなで楽しみました。このゲームを通して怖くて面白いハロウィンキャラクターにも自然と親しむことができました。ゲームを楽しみながら、難しい単語も喜んで意欲的に発音してくれていました。

“Fan the Ghost”のゲームでは子供たちのワクワクがさらに高まりました。生徒たちの高まるエネルギーとあきらめずに頑張る姿を見るのは本当に感動的でした。このゲームはうちであおぐたびに風でおぼけがあっちょっ

に飛んでいくので、コントロールするのがなかなか難しかったです。おぼけを箱に入れることができて、みんなホッとしたようなうれしそうなお顔をを見せてくれました。ゲーム中、みんなは「ファン・ザ・ゴースト!」と元気いっぱいに叫んでいました。楽しい英語ゲームを通してでも英語が身につくことをみんなの姿が証明してくれました。明かりを消してハロウィンランタンを見せた時、生徒たちは「もうパーティーは終わりがかな?」と思ったようでした。紙コップの中にハロウィンキャラクターが映っているのが見えた時、みんなびっくりしていました。ハロウィンキャラクターを描いて切り取り、紙コップに貼る作業では、みんなの創造力が大いに引き出されました。ハロウィンランタンの飾りを自分で切っているうちに、みんなの手先もどんどん器用になっていきました。自分たちが作ったランタンに灯りがともった瞬間、生徒たちは目を輝かせて驚いていました。最後はトリック・オア・トリートで締めくく。お菓子を受け取った生徒たちは、満面の笑みを浮かべていました。こんな感じで「トーキングキッズ・ハロウィンパーティー」は最高に楽しい時間になりました!